

家庭でできる生ゴミ減量

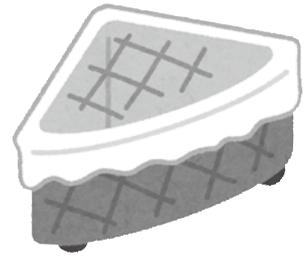
「もうひとしぼり」は絶大な効果あり

「もうひとしぼり」で大さじ3杯分(45g)の水切りを全世帯が毎日続けると…

45g×365日×20,279世帯=約333トン

年間約333tのごみ減量が見込まれ、ごみ処理に係る経費は年間約650万円削減できます。

ちょっとした工夫で水切りを



- 野菜を洗う前に皮むきすると、調理くずに水分を含ませずにすみます。
- 調理中は三角コーナーをシンク上に避けることで、生ゴミを濡らさずにすみます、
- 調理後、三角コーナーを傾けた状態でしばらく置いておくことで水分が切れやすくなります。
- 水分の少ない生ゴミは直接ごみ箱へ捨てると、シンクや三角コーナーで余計な水分を吸収しません。

食べ残しを減らそう



- 食材の必要以上の買いすぎに気をつけましょう。
- 適した方法で保存し、長持ちさせましょう。
- 余った野菜の皮・葉なども食材ととらえ、調理にいかしておいしく食べきりましょう。
- 宴会時には料理を食べる時間もつくりましょう。

例えば

- ◎キャベツの芯やにんじんの皮はベーコンと煮込んで野菜スープに
- ◎だしをとった昆布やかつおぶしは刻んでごま油で炒めてふりかけに
- ◎大根の皮や葉は味噌汁の具材やきんぴらに



生ゴミ処理機

容器のなかで生ゴミを粉砕・分解することにより、水分を飛ばして容積を減少・消滅させる機械です。



コンポスト

生ゴミを堆肥に再生できる容器で、地上に設置するタイプと地面に埋め込むタイプがあります。

密閉バケツ

家庭から出る生ゴミを、EM菌などの微生物を使って発酵分解し、堆肥に再生できる容器です。



生ゴミ処理機などの活用を補助制度をぜひ利用してください。

【生ゴミ処理機】

販売価格の2分の1に相当する額。
1基につき3万円を限度とする。

【コンポスト容器】

販売価格の2分の1に相当する額。
1基につき3,000円を限度とする。

【密閉バケツ】

販売価格の2分の1に相当する額。
1個につき500円を限度とする。

市指定ごみ袋

無料配布は6月末で終了
7月から価格改定

- 中(35ℓ) 1枚40円⇒1枚**20円**
- 小(25ℓ) 1枚30円⇒1枚**15円**

7月から市指定ごみ袋可燃ごみ袋がすべて有料化となります

市指定ごみ袋を使うのは、可燃ごみです。再生利用が可能な資源ごみは、今までどおり無料で収集します。資源ごみの分別意識と、生ごみなどのごみ減量の意識を持つことが、ごみ袋の使用量を減らすことにもつながります。

市指定ごみ(可燃ごみ)袋の無料配布廃止にともない、住民の皆さんにはご負担をおかけしますが、ご理解と協力をお願いします。

